

膵臓癌に対する強度変調放射線治療における治療計画自動作成装置の有用性の検討

奈良県立医科大学附属病院で放射線治療を受けられた(受けられる)患者様へ

<研究の内容、方法、使用するデータ>

この研究は、2014年1月1日から2018年9月30日に奈良県立医科大学附属病院で膵臓癌に対して、強度変調放射線治療を開始した患者様を対象とし、2019年6月30日まで行います。

強度変調放射線治療は多くの方向から放射線の強度を変えて照射する方法で、通常の放射線治療と比べて、腫瘍の周囲にある正常組織への線量を減らすことが可能です。膵臓癌では胃、肝臓、十二指腸、腎臓、脊髄が腫瘍の周りにあります。しかし、強度変調放射線治療の治療計画は手順が複雑であり、治療計画の質は計画作成者の経験や技量に大きく依存します。近年、強度変調放射線治療の治療計画を自動で作成する装置が開発されました。本研究では過去に医師が手動で作成した治療計画と治療計画自動作成装置で作成した治療計画を比較することで、この装置の有用性を検討します。この研究で使用するデータは通常の診療業務で取得されるデータであり、個々の患者さんの治療や検査等に影響を与えることは一切なく、研究の為に治療や検査等を行うこともありません。なお、本研究は本学の医の倫理審査委員会の承認を受け、学長の許可を得ています。

<個人情報の保護>

この研究では放射線治療計画の画像や照射される線量のデータを個人名がわからないようにして(匿名化)利用します。患者個人情報を含むファイルは暗号化した上で厳重に管理し、集められたデータから患者が特定できないよう配慮します。氏名が外部に漏れることがないように十分注意して行われ、プライバシーの保護について細心の注意が払われます。

データの使用にあたっては、患者さんおよびご家族に不利益などが一切生じないように、以下のことを厳守いたします。

- ・医学研究以外には使用しない。
- ・患者さんおよびご家族の氏名は公表しない。個人情報は厳密に守秘する。
- ・研究結果は学会、研究会、学術論文以外では発表しない。

<研究への不同意の場合等の連絡先>

ご自身のデータをこの研究に使用して欲しくないとお考えの患者さんあるいはそのご家族は、以下の連絡先までご連絡をお願い申し上げます。

研究責任者：奈良県立医科大学 医学部 放射線腫瘍医学講座 助教 若井 展英

住所：〒634-8522 奈良県橿原市四条町 840

電話：0744-22-3051 (代表)、3473 (内線)